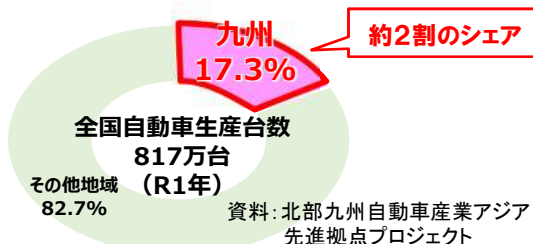


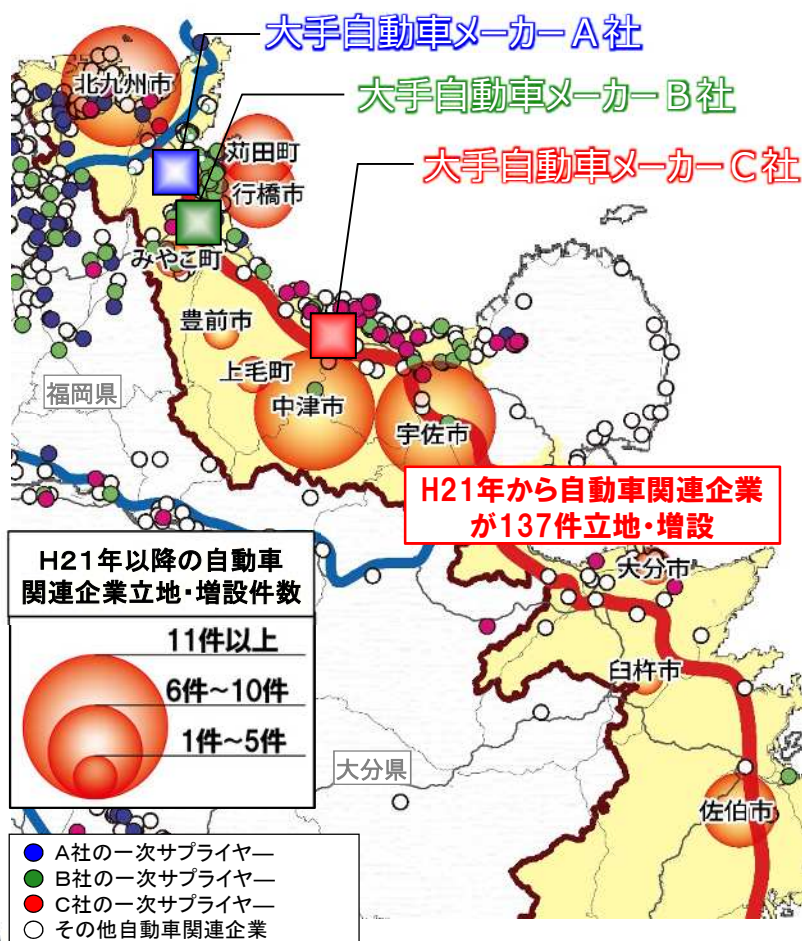
九州経済を牽引する自動車関連企業の進出

- 九州は全国自動車生産台数の約2割のシェアを占める自動車生産拠点。
- 定時性の確保された東九州道の開通を契機に、東九州道を利用しながら1台のトラックで複数の部品工場を回って部品を調達する“ミルクラン方式”の導入等、効率的な部品搬送方式を支援。
- 更に、九州の経済を牽引する自動車関連企業が福岡県や大分県の東九州道沿線へ集積し、自動車関連部品の出荷額が約2.1倍に増加。

■自動車生産台数のシェア



■自動車関連企業の立地状況



■新たな搬送方式の導入

ミルクラン方式の導入により
総走行時間：2,523分/日削減
トラックドライバー：6人/日削減

※大手自動車メーカーA社における削減効果

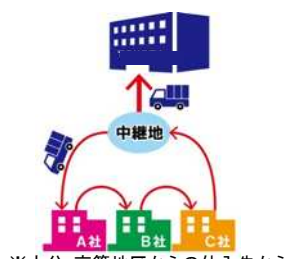
従来の方式

取引先ごとに部品を輸送



ミルクラン方式

1台のトラックで複数の部品工場を回り
部品を調達する効率的な輸送方式

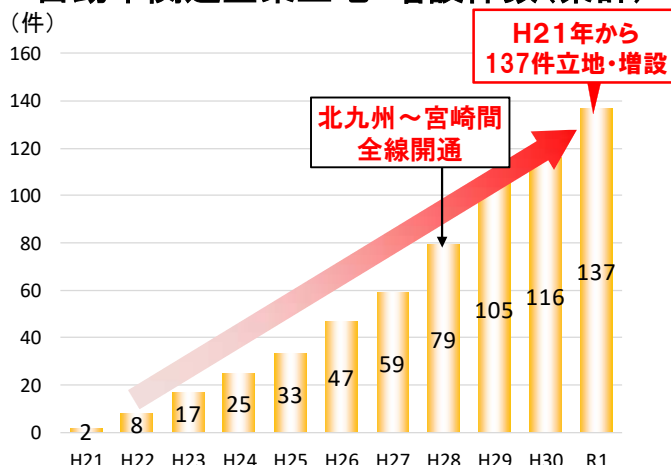


東九州道の開通により、定時性が向上したことを背景にミルクラン方式を導入し、輸送効率が向上しました。



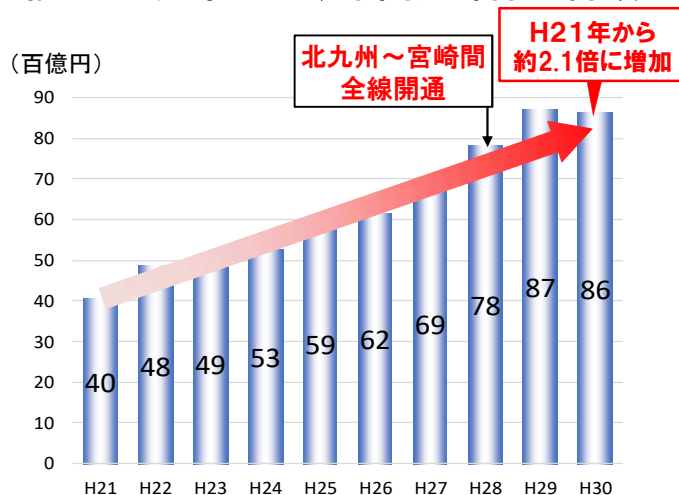
資料：九州自動車関連企業データベースとヒアリングより作成

■東九州道沿線市町(福岡・大分県)の自動車関連企業立地・増設件数(累計)



資料：東九州道沿線(福岡・大分県)16市町ヒアリング調査

■福岡・大分県の自動車関連部品出荷額



資料：工業統計
(自動車車体・附属車製造業と自動車部品・附属品製造業の合算)